

モグラ捕獲大作戦！

ブランコの前に、突如現れたでこぼこの道。上から踏んで壊しても、次の日には同じような道ができています。それどころか、モコモコの迷路のような道は、園庭のあちらこちらにどんどん増え続けていきました。


「困ったな。どうしましょう。」と、大人が頭を抱えている横で、「これは何だ？」「何かがいるみたい。」「もしかしたらモグラじゃない。」と、子どもたちの好奇心は止まりません。みんなで相談しながら“モグラ捕獲大作戦”が始まりました。








ここに道がある。
こっちにつながっているよ



どこまで続いているん
だろう？

子どもたちは好奇心旺盛。関心はどんどん高まっています。



ペットボトルを入れてみ
ようよ。もしかしたら、こ
の中に入るんじゃない。

それ、
いい考えだね。

モグラが入るかもしれないと、わなを仕掛けてみることにしました。



次の日にどうなっているか、何日も確かめました。
でも、モグラの勝ち！ どうやっても捕まえることができません。



幼稚園の園庭にキノコが時々芽を出します。子どもたちが図鑑で調べると、
どうやらモグラの糞から生えてくるキノコだったことが判明しました。やっぱり、
モグラは幼稚園に住んでいます。



水を掛けたら、モグラの頭がぬれて、ビックリして出てくるんじゃない。

そこで、次の作戦を考えました。

ぼくが網でとって
あげるよ。

うまいくといいね。



先生、ここすごいよ！





モグラの横穴発見に興奮が止まりません。





手を入れると、奥のほうまで横穴が続いていることに気づきました。



うわあ、こっちまで
続いているよ。



数日後、保育室を覗いてみると、子どもたちはモグラに大変身！
長いトンネルを作って保育室いっぱい遊びを繰り広げていました。
体験が子どもたちの確かな力になっています。

さくら組は、モグラ探しがきっかけとなり、
図鑑を調べたり、モグラが嫌いだというニンニク
を穴に入れたりしながら観察を続けています。

どうやら表現遊びにつながったようですよ。
どんなお話になるのか楽しみですね。

